

年 組 名前：

コロナ禍 県内スポ少の団員減

新型コロナウイルス感染が長引く中、山梨県内のスポーツ少年団などが団員確保に苦戦しています。県スポーツ少年団事務局によると、少子化で年々減少傾向にありましたが、コロナ禍で大会中止が相次いだことなどで拍車がかかったといえます。県スポーツ少年団によると、団員数はコロナ禍前も少子化で毎年300人前後は減少していましたが、県内の2021年度の登録団員数は8161人で、コロナ禍前の19年度に比べ888人減りました。富士吉田市にはかつて約60の少年



新型コロナウイルス禍でサッカーの練習に励む子どもたち 甲府市内

年野球チームがありましたが、本年度は2チームが休部し、3チームにまで減少。甲府市では入団者が例年の半数以下というサッカースポーツ少年団もあります。ある指導者は「練習中に子どもの中で感染が広がるのを心配する保護者も多い」と影響を話しています。

(2022年5月26日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと10面)

問1 山梨県内のスポーツ少年団は、何に困っていますか。

問2 今年の富士吉田市の少年野球チーム数は、多い時と比べて、何チーム少なくなりましたか。

問3 あなたは、どんなスポーツの少年団があつたらいいと思いますか。
